

募集

◆市民農園の利用者

下記の空き区画の利用者を募集します。いずれも年間使用料は5000円(年度途中から使用する場合は月割り)、面積は約30平方メートルです。

市内在住(一家族一区画、重複申込み不可、いきいき農園の利用者およびその家族の方は申込み不可)

農園名	所在地	貸付期間	空き区画数
宮本町五丁目第1	宮本町5-166-1ほか	平成32年3月まで	3
宮本町五丁目第2	宮本町5-112ほか	平成29年3月まで	4
宮本町五丁目第3	宮本町5-63ほか	平成30年3月まで	1

で、年間を通して畑の管理ができる方(利用開始は平成28年1月から) ①12月11日(金)必着(までに、往復はがきの往信面に住所・氏名・電話番号・希望農園名、返信面の宛先に郵便番号・住所・氏名を記入し農業振興課へ。利用者および利用区画については、12月14日(月)、午前10時から市役所第三庁舎5階第6会議室で公開抽選を行います。結果は応募者全員に通知しますので、欠席でも差し支えありません

*各農園とも駐車場、水道設備、農機具の保管場所、ゴミ捨て場はありません

*市ホームページの「市民農園」

老人福祉センターの「きんぎょ」部供用開始

台風18号に伴う大雨の影響で臨時休館している「きんぎょ」は、一部の施設を除き、12月1日(火)から供用開始します。

〈供用開始施設〉 2階、3階部分(浴室除く) 37

①福福祉推進課 ☎9633192

〈今後の予定〉 12月14日(月)から3階浴室、平成28年2月中旬ごろから1階施設(工芸室、園芸陶芸室)を供用開始予定

12月19日(土)から「越ヶ谷宿」の新米新酒を限定販売

①産業界支援課 ☎9671146800

「越ヶ谷宿」は越谷小売酒販組合越谷支部が市内の新たな特産品の創出を目的に開発した日本酒です。今年も、市内で収穫した72俵の埼玉県産米「彩のかがやき」を原料に、4400本(1・8%換算)の「越ヶ谷宿」を製造しました。

12月19日(土)から、市内の酒店やコンビニ等で、新米新酒搾りたて純米生酒「越ヶ谷宿」を限定販売します。

米のうまみがしっかりと出た、キレのあるやや辛口に仕上がっています。ぜひご賞味ください。



越ヶ谷宿

利用者募集」から電子申請でも申し込めます

①農業振興課 ☎96331919

◆男女共同参画支援センター「ほっと越谷」

平成28年度登録団体

ほっと越谷では、男女共同参画を推進するため活動している団体を支援しています。登録団体には、セミナーの開催や情報発信の場の提供などの支援を行います。

①平成28年1月5日(火)〜2月13日(土)。登録要件や提出書類など詳しくは左記へ ①ほっと越谷 ☎970117411(月曜日・祝日休館)

◆中核市・越谷 移行記念 第16回越谷市美術展覧会(市展) 出品作品

平成28年2月5日(金)〜11日(祝)に中央市民会館で開催する第16回市展の出品作品を募集します。

①募集期間:12月14日(月)まで

②募集内容:日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門

③出品料:作品1点につき1000円

詳しくは募集要項(生涯学習課、各地区センター等で配布のほかにホームページからも印刷可)をご覧ください。

①生涯学習課(第二庁舎4階) ☎963319307

課、各地区センター等で配布のほかにホームページからも印刷可)をご覧ください。

①生涯学習課(第二庁舎4階) ☎963319307

◆越谷市指定障害者福祉サービス事業所「しらこぼと」就労移行支援事業および就労継続支援事業B型利用者

①午前9時〜午後4時30分(月曜〜金曜日。祝日、年末年始を除く) ②次のすべてに該当する方若干名。③主に知的障がいのある単独通所可能な18歳〜64歳の方 ④就労支援(一般就労を目指すため、就労に必要な知識・技術の習得、職場探し等の支援)を必要とする方 ⑤12月18日(金)までに直接または電話で左記へ。施設見学および個別面談(保護者同伴)、選考実習(6日間)を行い入所を決定します。就労移行支援事業では、欠員が出しだい、随時受け付けします ⑥越谷市指定障害者福祉サービス事業所「しらこぼと」 ☎965116541

◆図書館の雑誌に掲載する広告

市立図書館と市内各図書室(北部図書室、南部図書室、中央図書室)の雑誌に掲載する広告

①平成28年度版「保健カレンダー」に掲載する広告

申込み期限は12月25日(金)まで。掲載に関する条件など詳しくは左記へ。

①市民健康課(保健センター) ☎978113511

これは、雑誌スポンサー制度といわれるもので、スポンサーの方に、雑誌の購入費用を負担していただくかわりに、その雑誌の最新号のカバーや書架扉に広告を掲載することができるといったものです。本制度により、スポンサーの方に雑誌を広告媒体として活用していただくことも、図書館サービスの充実を図ります。

①企業、商店、団体など ②申込書に広告案、企業等の概要が分かるものを添えて、直接市立図書館へ。申込書は市立図書館で配布しているほか、市立図書館ホームページ(http://lib.city.yokogaya.saitama.jp/)から印刷可。詳しくは、市立図書館ホームページをご覧ください

①お問い合わせください ②市立図書館 ☎965112655(月曜日休館)

◆平成28年度版「保健カレンダー」に掲載する広告

申込み期限は12月25日(金)まで。掲載に関する条件など詳しくは左記へ。

①市民健康課(保健センター) ☎978113511

◆地下鉄整備実現に向けた署名にご協力ください

東京8号線(地下鉄8号線・有楽町線)の豊洲から野田市まで(越谷レイクタウン経由)の延伸整備実現に向けた署名活動を実施しています。詳しくは、越谷市商工会または市ホームページをご覧ください。

①越谷市商工会 ☎966116111

②都市計画課 ☎963319222

消防署からののお知らせ



暖房器具やカセットこんろの取り扱いに注意しましょう

誤った使用方法や、管理を怠ると火災につながります。取扱説明書などをよく読み、器具の正しい取り扱いや管理をしましょう。

〈カセットこんろによる火災を防ぐためのポイント〉

▽カセットこんろを覆うような大きな調理器具は使用しない

▽クッキングヒーターや焼き物器など、他の熱源の上や近くに、カセットこんろを置かない

▽カセットボンベは中身のガスを使い切ったから捨てる

①消防本部予防課 ☎974110103

消防本部職員をラオスへ技術指導に派遣

10月12日から25日までの14日間、市消防本部の八幡勝高(やまがた)度救助隊長がラオスに派遣され、消火活動の安全管理や救助用資機材の取り扱いなどを指導しました。これは市消防本部が(一社)日本外務協会を通じて、ラオスへ消防ポンプ自動車3台を寄贈したことから、ラオスから指導員としての派遣依頼があり、それに応じたものです。

八幡隊長は「準備が不十分であれば、危険要因が増える。自分を守り、市民を守るためには常に準備をすることが、を繰り返して伝えました」と語りました。

市消防本部は、開発途上国支援のため、合計11台の消防車両を寄贈しています。



救助資機材の説明をする八幡隊長

10月12日から25日までの14日間、市消防本部の八幡勝高(やまがた)度救助隊長がラオスに派遣され、消火活動の安全管理や救助用資機材の取り扱いなどを指導しました。これは市消防本部が(一社)日本外務協会を通じて、ラオスへ消防ポンプ自動車3台を寄贈したことから、ラオスから指導員としての派遣依頼があり、それに応じたものです。

八幡隊長は「準備が不十分であれば、危険要因が増える。自分を守り、市民を守るためには常に準備をすることが、を繰り返して伝えました」と語りました。

市消防本部は、開発途上国支援のため、合計11台の消防車両を寄贈しています。